

当院にて摂食嚥下リハビリテーションを受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学摂食嚥下リハビリテーション科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名

小児患者に対する摂食機能療法の効果検証のための多施設共同研究

2. 研究目的

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックからの共同研究となります。全国 10 か所の医療機関において、小児の摂食嚥下リハビリテーションを行うことが、障害児の摂食機能獲得の促進に有効であるか、診療記録から検討することを目的としています。

3. 研究方法

調査の対象となるのは、2017年1月～2020年12月までに東京歯科大学水道橋病院、千葉病院/千葉歯科医療センターで摂食嚥下リハビリテーションを受けた0～6歳の障害児の方です。診療録の記載より、年齢（修正月齢）、性別、食形態、摂食機能獲得段階などを調査します。住所、氏名など、患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。また、これらの個人の特定されないデータは日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックのみに提供されます。

4. 研究期間

2021年11月12日～2023年3月31日

5. 研究により得られた結果等の説明に関する方針

この研究で得られた成果は、日本障害者歯科学会、国際障害者歯科学会での発表や *Dysphagia Journal* に論文投稿する可能性があります。個人情報保護のため氏名など個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

6. 個人情報等の取り扱い

この研究によって得られた情報は、当院の個人情報取り扱い指針（プライバシーポリシー）に従い、研究責任者が適切に保管・管理します。いずれも個人情報として細心の注意をもって取り扱います。知り得た情報を目的外に利用することは一切ありません。なお、本研究で得られたデータの保管期間は研究終了報告後5年間とし、その後は速やかに廃棄します。

7. 研究に関する情報公開の方法

研究対象者は、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。希望される場合

は研究責任者にお尋ねください。なおその際は、他の対象者の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内となります。

8. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究は既存の情報のみを利用するため、研究対象者の皆様にリスクや健康被害が生じることはありません。本研究により障害児の摂食嚥下リハビリテーションの一助になることが期待されます。

9. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

10. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

11. 費用等に関すること

本研究は既存情報を用いた臨床統計的研究であり研究費を必要とせず、対象者の皆様に何らかの経済的負担が生じることはありません。研究費が必要な場合には講座研究費を使用します。本研究に係る利益相反はありません。また、対象者の皆様への謝金はありません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研修室

情報管理責任者 大久保真衣

連絡先 043-270-3915